

2019年度9月 SOMPOケア 光が丘 定期巡回

定期巡回・随時対応型訪問介護看護

介護・医療連携推進会議

- 事業所名 SOMPOケア 光が丘 定期巡回
- 日時 2019年9月13日（金） 15 時 00 分～ 16 時 00 分
- 場所 光が丘区民センター 6階会議室
- 目的
- ① 適正な運営を行う
 - ② 地域に開かれたサービスとする事で、サービスの質の確保と向上を図る
 - ③ 介護及び看護に関する課題について情報共有を行い、介護と医療の連携を図ること

■アジェンダ

	内容	担当	所要時間	開始時間	終了時間	資料
1	開始の挨拶	樋口	0:03	15:00	15:03	
2	出席者のご紹介	樋口	0:05	15:03	15:08	
3	サービス提供状況の報告	樋口	0:05	15:08	15:13	
4	事例紹介	望月	0:10	15:13	15:23	
5	質疑応答・意見交換	各々	0:15	15:23	15:38	
6	協議会メンバーからのご連絡	各々	0:10	15:38	15:48	
7	閉会の挨拶	樋口	0:10	15:48	16:00	



SOMPO ケア

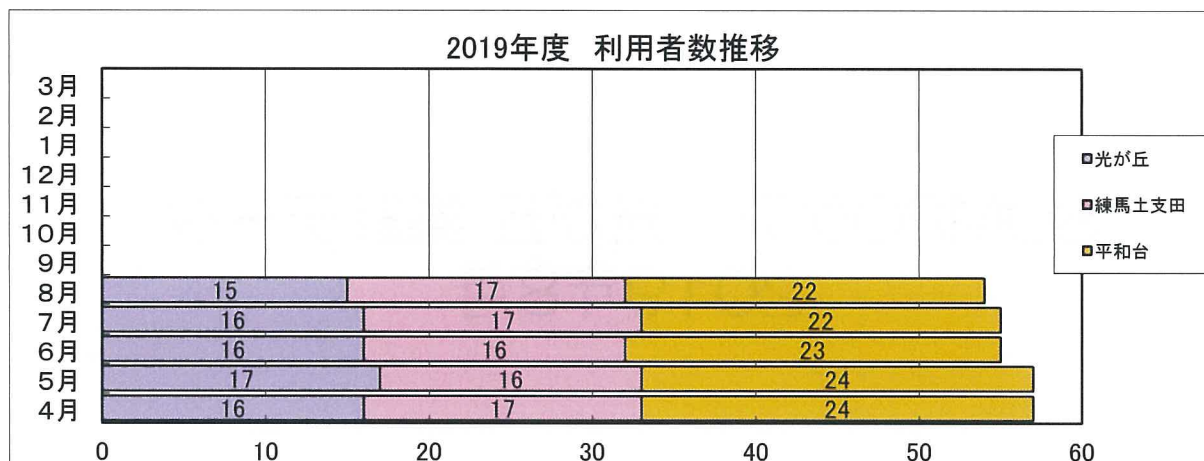
SOMPOケア 光が丘 集計データ 2019年8月



※本集計データは、2019年4月～2019年8月までの利用者累計数及び同期間の請求実績を基に算出したデータです。

【1、年間利用者数推移】

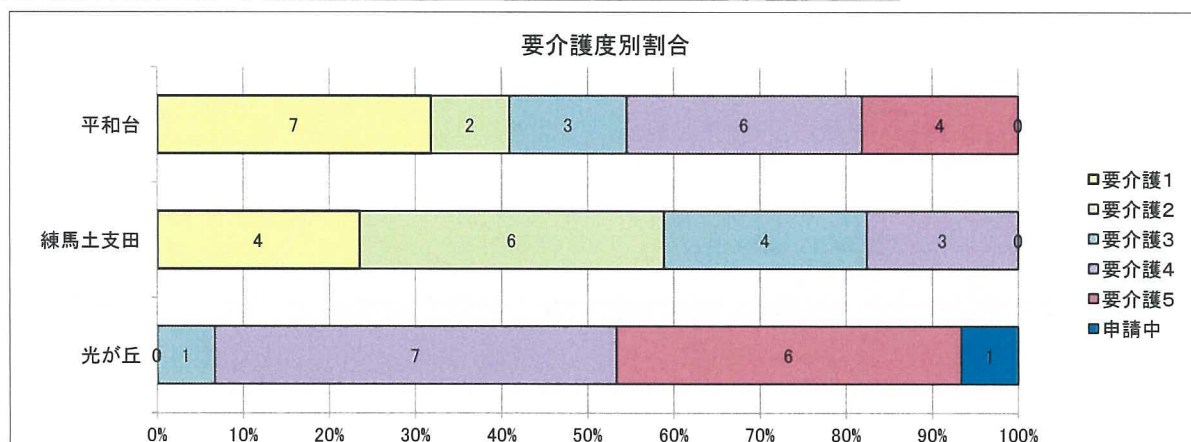
★利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
光が丘	16	17	16	16	15							
練馬土支田	17	16	16	17	17							
平和台	24	24	23	22	22							
合計	57	57	55	55	54	0	0	0	0	0	0	



【2、要介護度別利用者数】

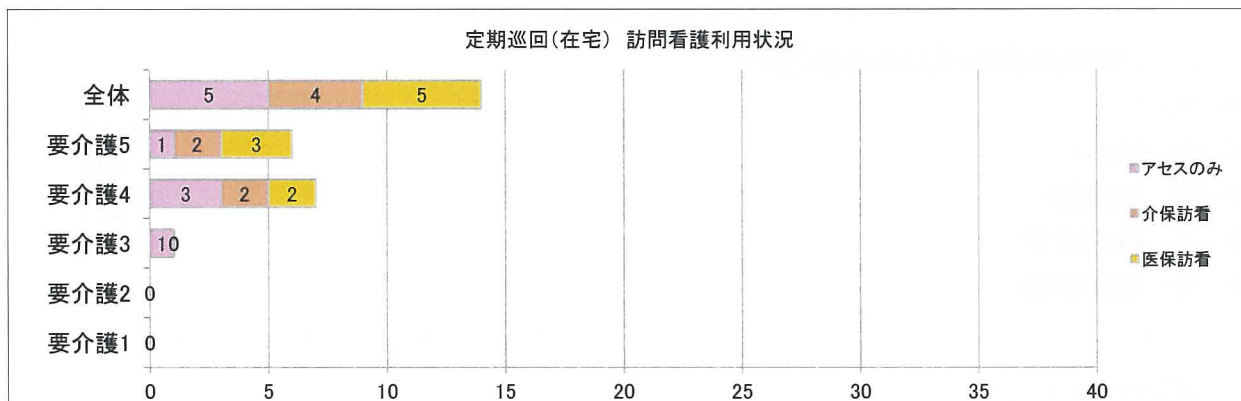
要介護度別 (人)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	合計	平均要介護度
光が丘	0	0	1	7	6	1	15	4.07
練馬土支田	4	6	4	3	0	0	17	2.35
平和台	7	2	3	6	4	0	22	2.91

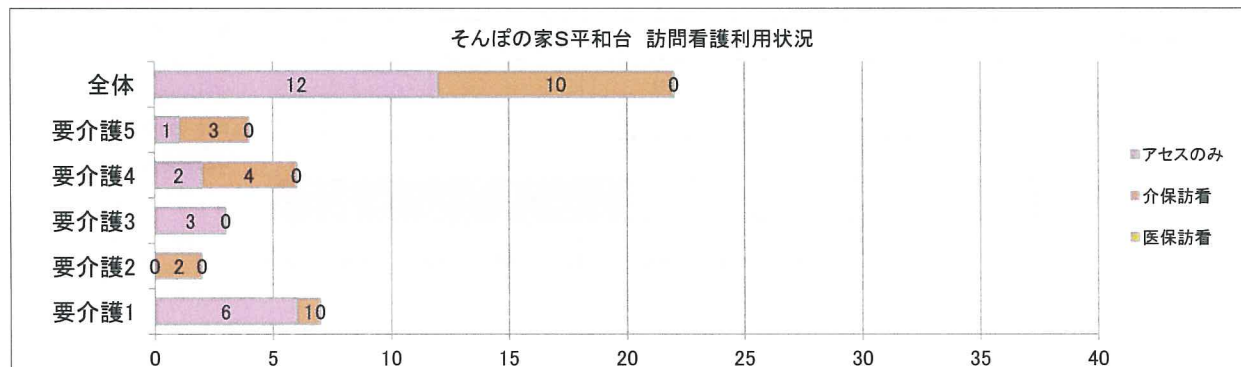


【3、訪問看護等利用状況】

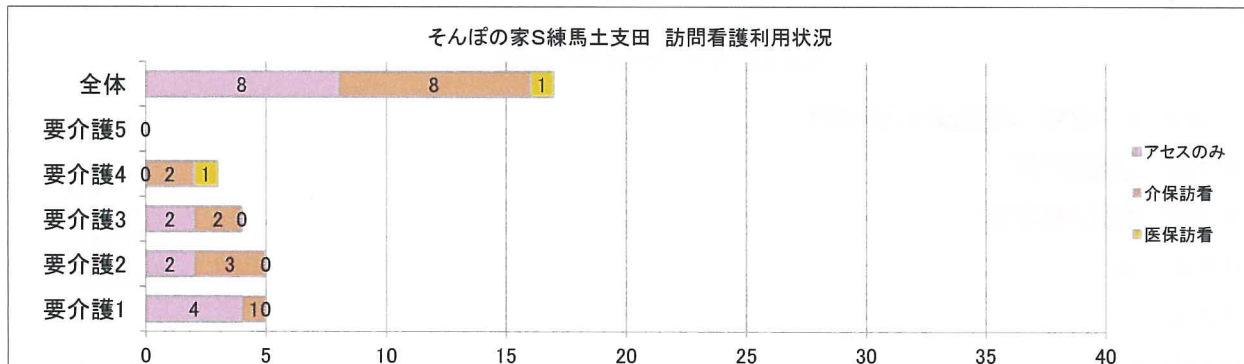
光が丘	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	全体
アセスのみ	0	0	1	3	1	5
介保訪看	0	0	0	2	2	4
医保訪看	0	0	0	2	3	5
合計	0	0	1	7	6	



平和台	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	全体
アセスのみ	6	0	3	2	1	12
介保訪看	1	2	0	4	3	10
医保訪看	0	0	0	0	0	0
合計	7	2	3	6	4	

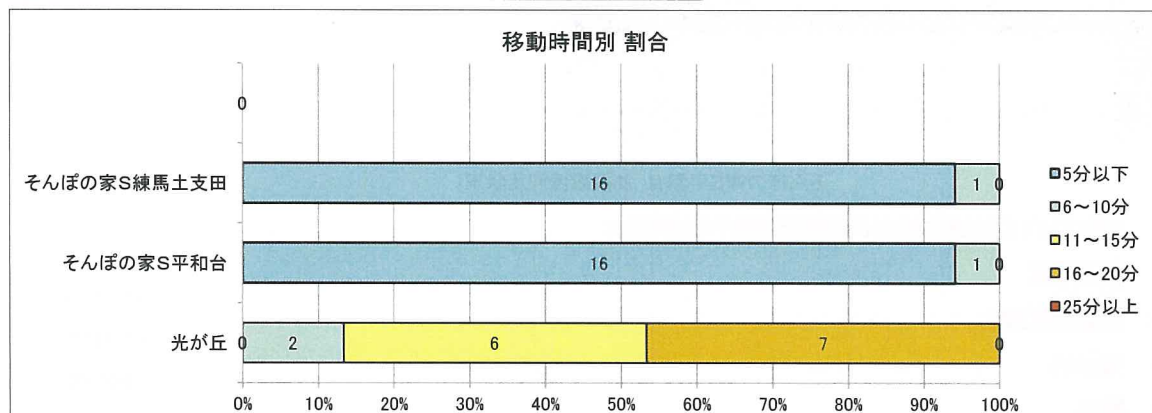


練馬土支田	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	全体
アセスのみ	4	2	2	0	0	8
介保訪看	1	3	2	2	0	8
医保訪看	0	0	0	1	0	1
合計	5	5	4	3	0	



【4、移動時間（分）】

	5分以下	6～10分	11～15分	16～20分	25分以上	合計
光が丘	0	2	6	7	0	15
そんぽの家S平和台	16	1	0	0	0	17
そんぽの家S練馬土支田	16	1	0	0	0	17
	0	0	0	0	0	0



定期巡回・随時対応型訪問介護看護ケース紹介

事業所名: SOMPOケア光が丘

事例

H 様

90歳 女性 要介護 3 (生活自立度 A2 : 認知症自立度 IIb)

平成28年3月にサービス付き高齢者向け住宅に3姉妹でご入居される。平成28年10月頃より首や体の傾きがみられるようになり、同年12月に病院を受診する。パーキンソン病症状候群の疑いがあると診断あり。パーキンソン薬の処方されるが効果がみられなく、傾きの原因は不明。薬は幻覚のような症状等副作用がみられたため医師と相談し中止する。その後、体の傾きは体の傾きは改善傾向にあったが、ふらつきや転倒が増えていった。平成29年12月に家族様よりCMに、身の回りの事を行うことが難しくなってきたため相談があり、訪問介護の利用開始となる。平成30年12月頃より、転倒回数が増え、排泄の失敗もみられるようになり家族様よりCMに相談がり、定期巡回の提供を、平成31年1月より開始する。

身体状況

既往歴: H25年 右橈骨遠位骨折手術
現病歴: H17年 骨粗しょう症
H23年 左目緑内障
H26年 左目白内障
H26年 変形性脊椎症・右膝関節症
H28年 身体・首の傾き(原因不明)
H29年 高血圧

生活状況

姉2人
キーパーソン 甥

意識状態

意思疎通可能
昼夜逆転傾向(常時傾眠がみられる)
時折、てんかん発作がみられる

看護連携

バイタルサイン
服薬内容と状況の確認
皮膚状態の確認

看護助言

進行性核上性麻痺のため、色々な症状がみられるため、行動障がいや記憶障がい、てんかん発作等みられる時は随時報告相談をする事。

介護目標

転倒のリスクを軽減し、排泄等のお困りごとの支援を行う。またご病気に関しては訪問介護・訪問診療・訪問看護にて連携を図り、早期に対応できるよう支援を行い、本人様の普通の生活を実現していく。

週間計画①

サービス導入 平成30年 1月～
看護サービス: 有 (介護保険)

	月	火	水	木	金	土	日
6:00							
				起床介助・食事準備			
8:30							
12:00	掃除			服薬介助			
				食事準備			
				服薬介助			
14:00				入浴・洗濯			
19:00				食事準備			
0:00				服薬介助			
				排泄介助			
				排泄介助			
6:00							

ポイント

定期巡回サービス
毎日 排泄(1日3回) 日中は随時対応/服薬・点眼(1日3回)/食事準備(1日3回)

週1回の掃除(月)
週1回の入浴援助、洗濯(木)

訪問看護 月2回

往診 月2回

必要時のお買いものや掃除、薬のセットは、ご家族のインフォーマル

事例

支援経過 令和元 年 9 月現在

平成31年1月、認知面の低下や転倒が多く見られたため、病院受診をすると進行性核上性麻痺の診断がでた。定期巡回のサービス導入直前よりご自身で薬の服用（管理）が出来なくなり、身体がうまく動かず転倒に繋がってしまっている可能性があり、服薬はケアスタッフで管理を行い服薬の援助を行う事となった。

転倒事故も複数回あり、行動目的がトイレに行こうとして転倒されたという内容がほとんどであった。

平成31年2月、転倒抑止の観点からポータブルトイレを導入する。排泄介助の時間帯や回数の見直しを実施。

この頃よりトイレではない場所で排泄をしてしまうなどの行動がみられるようになった。

また、夜に起きている事が多くみられ、昼夜逆転がみられた。医療と連携し薬の調整を図る。

平成31年3月、引き続き排泄の問題が続いている。転倒回数は減少している。緊急コールが頻回に鳴るようになり、ご訴えの内容が「どうしたら良いかわからない」という不安なご訴えが多く聞かれるようになった。

原状の状態を医療（訪問看護・訪問診療）と相談を行い認知面の低下がみられるため、イクセロンパッチが処方となった。貼付開始から1週間ほどすると、緊急コール減少、排泄の失敗なども減少した。

平成31年4月以降～現在まで、転倒は繰り返しあるものの、当初のお困り事の服用や点眼の管理、排泄時の認識の問題などは、改善されご本人様の不安を減少する事ができている。

導入後の効果

進行性核上性麻痺は難しいご病気で、様々な症状（パーキンソン症状に似た症状〈転びやすい〉、認知機能障がい、目が動きにくい、嚥下障害、自律神経障害）がみられ多岐に渡り様々ところの観察が必要となる。原状は初期症状で、転倒リスクが高く、排泄の問題もあったが、定期巡回を導入し排泄援助の導入、見直しを行い転倒減少する事ができたり、介入が増えた事で転倒予防や状態把握ができ医療との連携も素早い行動をとる事が出来た。

本人・家族の様子

導入前

服薬漏れや転倒が多くみられていた。
家族様も転倒を心配されており不安を抱いていた。

導入後

本人様の困りごと減少し不安な発言や様子は少なくなった。家族様からも不安や心配が減ったと安堵の声をいただく。医療との連携もあり安心につながっている。

今後の課題

転倒は繰り返し起こっているため予防や対策は随時必要である。居室環境もすぐに洋服やゴミ（トイレトーパー）などが散乱してしまいうため居室環境維持し転倒防止に努める必要がある。進行性核上性麻痺に対して日々の状態観察を行い医療と連携とっていく。

**SOMPOケア光が丘 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
介護医療連携推進会議 記録**

開催日	開催時間
2019 年 9 月 13 日	15 : 00 ~ 16 : 00

■出席者		■当日欠席者	
名前	所属	名前	所属
F様	ケアワーカー中ノ宮	S様	練馬区介護保険課
H様	ケアワーカー中ノ宮	K様	練馬キングガーデン地域包括支援センター
Y様	北町地域包括支援センター		
O様	田柄地域包括支援センター		
M様	福祉の森さくら介護センター		
A様	練馬高松園地域包括支援センター		
H	SOMPOケア 光が丘 管理者 定期巡回計画作成責任者		
S	SOMPOケア 光が丘 練馬土支田ST 計画作成者		
M	SOMPOケア 光が丘 平和台ST 計画性責任者		
E	SOMPOケア 練馬エリア上席管理者		

■審議事項

次回へ持ち越し

1 開始の挨拶	☐
2 介護・医療連携推進会議参加者のご紹介	☐
3 サービス提供状況の報告	☐
5 事例発表	☐
6 意見交換（サービスへの評価・要望・助言）	☐
7 協議会メンバーからのご連絡	☐
8 閉会の挨拶	☐

1.開始のあいさつ

H：お忙しいなか、お集まり頂きありがとうございます。
第3回光が丘定期巡回、介護医療連携推進会議を開催させていただきます。

2.介護・医療連携推進会議参加者のご紹介
みなさまより自己紹介（所属とお名前）

3.サービス提供状況の報告

資料ご参照頂きご説明させていただきます。
利用実績は前回の推進会議後の2019年4月～2019年8月までの利用者累計数および同期間の請求実績を基に算出したデータです。
SOMPOケア光が丘は平和台サテライト、練馬土支田サテライトの計3事業所となっております。
2月にて光が丘15名、練馬土支田で17名、平和台で22名の計54名のご利用状況となっております。
このあと、資料参照しながら要介護度別利用者数、訪問看護等利用状況、移動時間についてのご報告。

4.事例発表

「医療連携」についての事例発表を行う（平和台ST事例）発表者M計画作成責任者。

事例についてのご意見・質問・助言等を参加より頂く、また様々な事業所が参加していることから意見交換行い、事例以外でも今後のケアに活かしていく。

5.質疑応答・意見交換

H様 不安だけでコールがあった場合には訪問しないですよね？
→不安のみの訴えでは緊急性は引くいと判断していますが、中にはコールを切電しても頻回にコールがあることで不安の訴えだけでも訪問はしているのが現状です。
K様 コールだけの対応では利用できないですよね？
→随時対応のみの利用も可能です。

